

2014

環境報告書

(2014年4月～2015年3月)

DAIHO INDUSTRIAL CO.,Ltd. Environmental Report

環境レポートの範囲

●対象範囲：国内事業場

大宝工業（株） 本社
金型事業部関東出張所
金型事業部関西出張所
関東カンパニー足利工場
関東カンパニー大田原工場
関西カンパニー湖南工場
関西カンパニー河野工場
関西カンパニー鳥取工場
九州カンパニー福岡工場

タイロン（株） 枚方工場
那須工場

マガタ富士化成（株）
（株）大宝総合保険

●対象期間：2014年度（2014年4月から2015年3月）

海外と2013年度以前の環境取組も一部紹介しています。

ホームページでの開示情報

環境への取組み

<http://www.daiho-hq.com/eco/eco.htm>

企業情報

<http://www.daiho-hq.com/profile/profile.htm>

発行

2015年7月（次回発行は2016年7月予定）

環境報告書に関するお問合せ先

大宝工業株式会社 環境事務局

〒570-0003 大阪府守口市大日町1-3-7

TEL 06-6908-8126

FAX 06-6909-5139

発行責任者：高桑恒治

C O N T E N S

会社概要

企業プロフィール	3
会社組織	4
主要製品	4

環境マネジメント

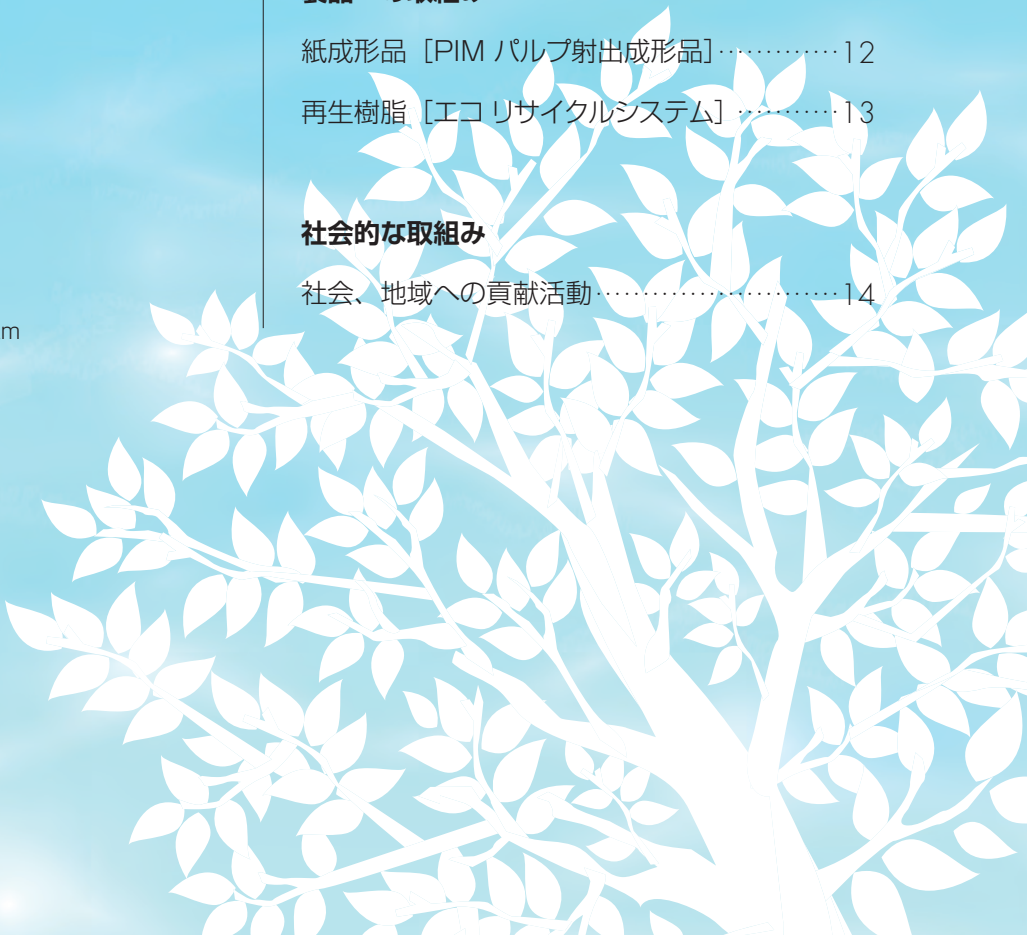
経営基本方針・環境方針	5
環境組織	6
環境負荷の全体像	7
環境活動 計画・実績	8
改善取組みの事例紹介	9-10
環境関連法規制の遵守	11

製品への取組み

紙成形品 [PIM パルプ射出成形品]	12
再生樹脂 [エコリサイクルシステム]	13

社会的な取組み

社会、地域への貢献活動	14
-------------	----

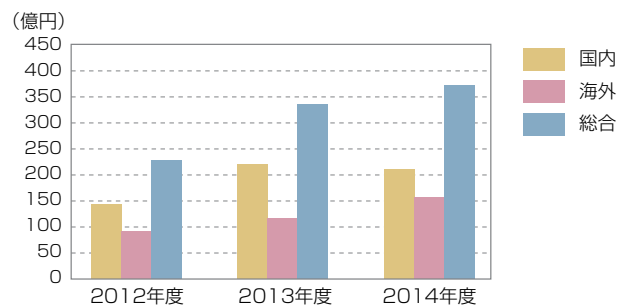


会社概要

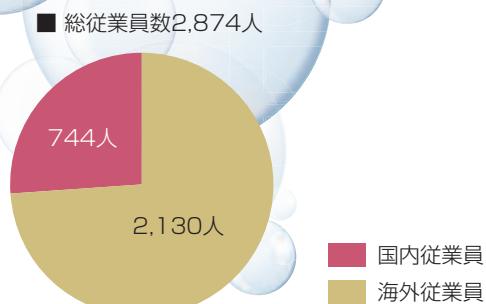
企業プロフィール

会社名 大宝工業株式会社
 設立 1937年3月6日
 資本金 100,000,000円
 本社 〒570-0003
 大阪府守口市大日町1-3-7
 TEL 06-6908-8125
 FAX 06-6908-7951
 代表者 代表取締役会長兼社長：國友 省爾
 従業員数 744名（国内）/2,130名（海外）計2,874名
 （2015年3月31日現在）

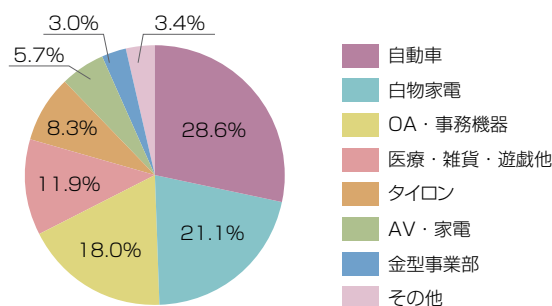
売上高の推移（2015.3.31現在）



グループ従業員数（2015.3.31現在）

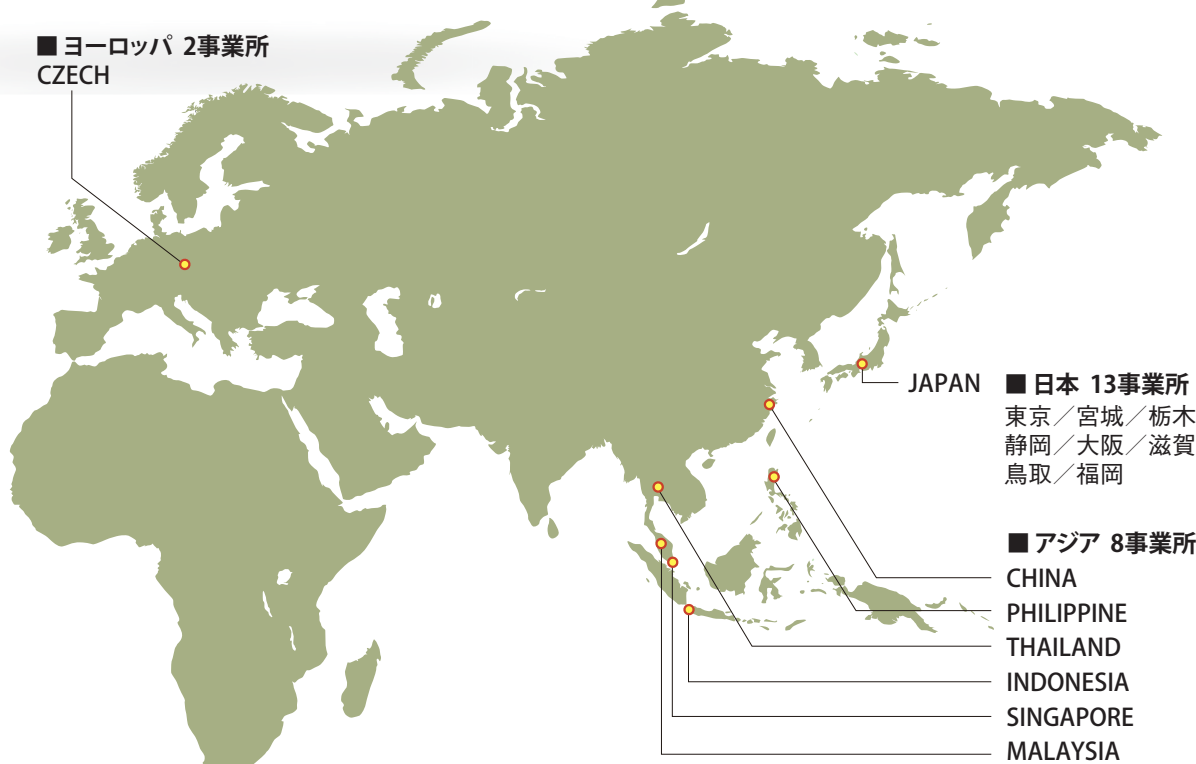


売上高構成比（2015.3.31現在）

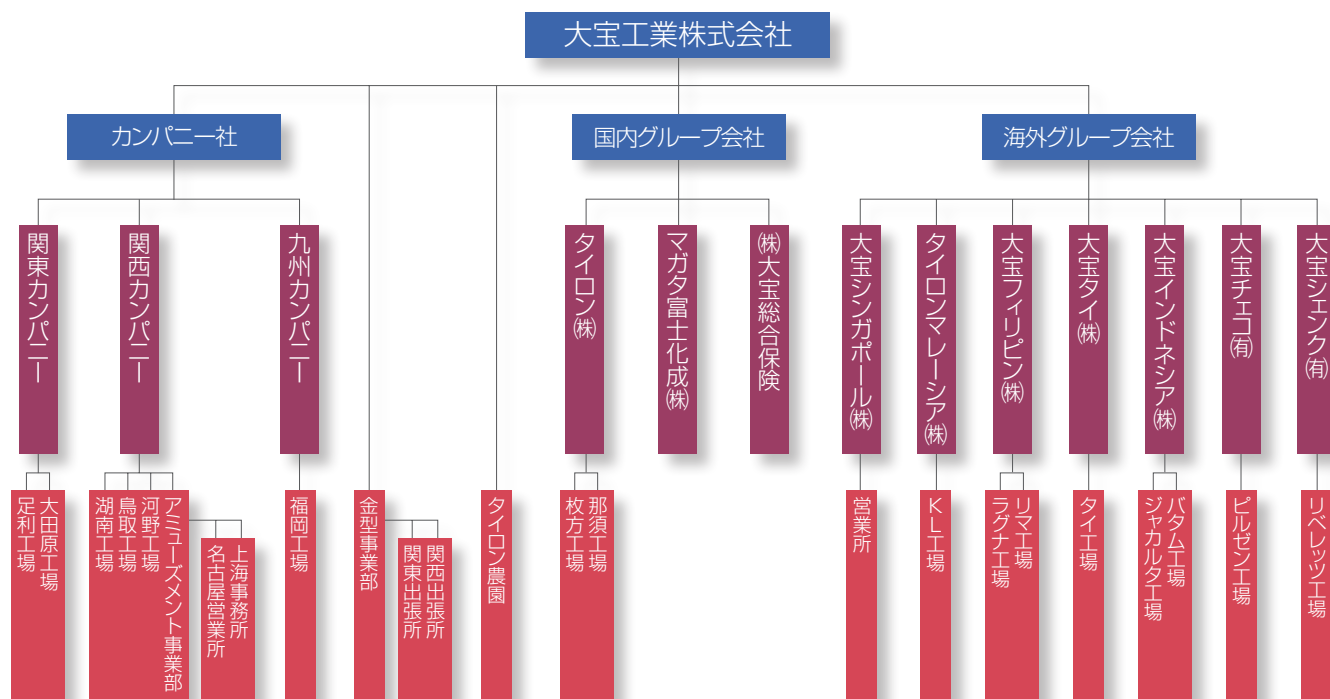


国内外拠点（2015.3.31現在）

■ ヨーロッパ 2事業所 CZECH



会社組織（2015年3月31日現在）



「2015年4月1日、東海カンパニーを新設（関西カンパニー・アミューズメント事業部の事業を継承）」

主要製品

家電、OA機器、自動車、住宅関連機器などの
プラスチック成形部品の
製造・販売および金型の設計や
生産・メンテナンスを行っています。

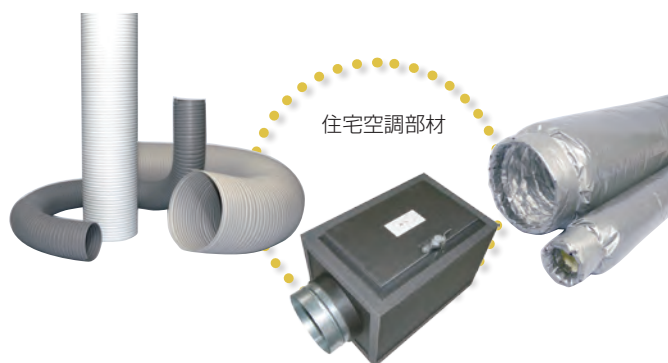
家電、OA機器の
外装部品



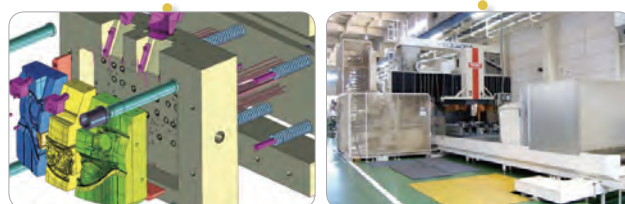
自動車の
内装部品



住宅空調部材



金型設計・製造
メンテナンス



経営基本方針・環境方針

大宝グループ 経営基本方針

1. 限りなき創造性を発揮して、新しい技術、新しい商品を開発し、社会の繁栄に役立つ仕事をしよう
2. 社会からお預かりしている、数多くの貴重な経営資源を大切に扱い、すすんで活用しよう
3. かけがえのない地球環境を、将来の世代に遺し、心豊かな人間集団づくりを通じて、社会生活の改善向上に役立つ

大宝グループ 環境方針

スローガン 「私たちは環境に思いやる人づくりをめざします」

1. 環境保全の目的・目標を明確にし、大宝グループとして継続的に環境改善と汚染予防に取り組めます。
2. 環境法規制等を遵守するとともに、その改善に取り組めます。
3. 環境に配慮した新技術の開発と定着に努力します。
4. 物づくりにおける環境負荷、資源、エネルギーの使用を最小化するように努力します。
5. 環境目的を達成する積極的な人づくりを推進します。

大宝環境憲章

大量生産、大量消費、大量廃棄型の産業構造や都市型の生活様式によって、地球温暖化、森林破壊、産業廃棄物処理、ダイオキシンや環境ホルモンなど有害化学物質の影響をうけて、環境汚染が地球規模で進行しつつあります。

大宝グループでも、プラスチック成形あるいは2次加工の過程で知らず知らずのうちに、さまざまな形で環境に負担をかけています。

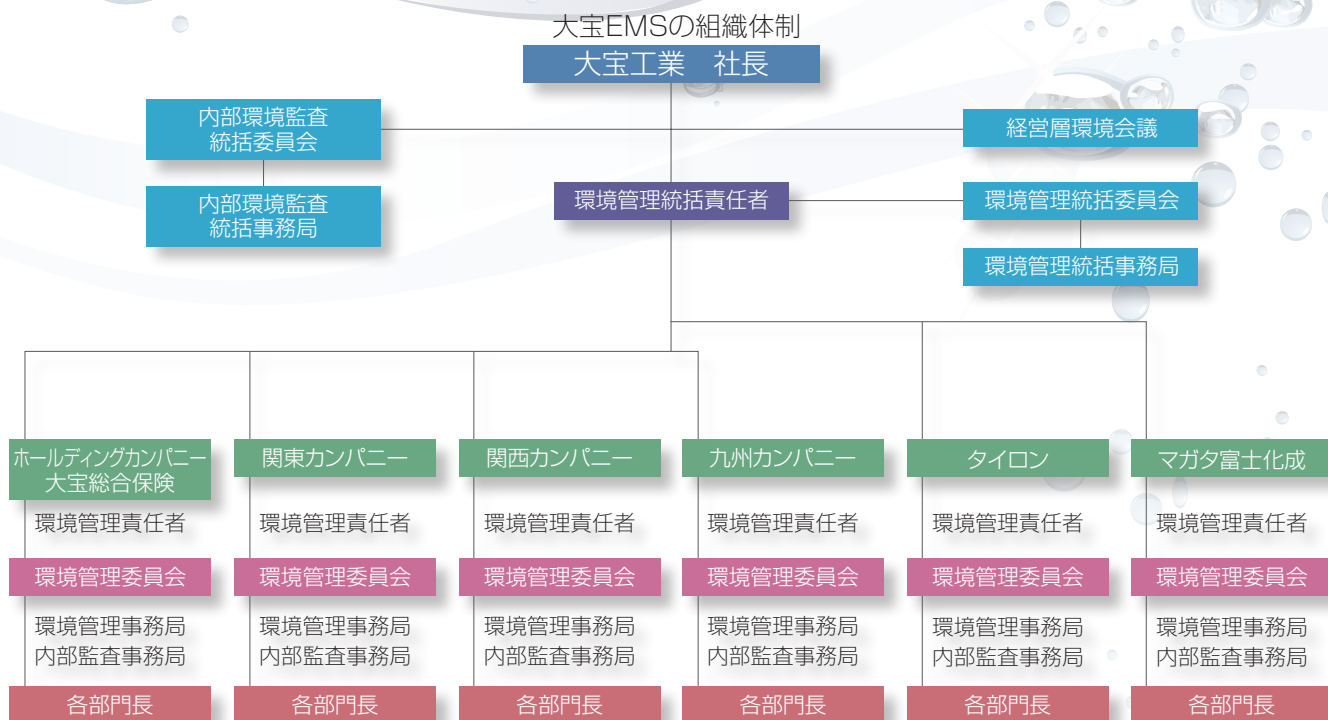
私たち社員とその家族は、かけがえのない地球を守り、恵み豊かな環境を子孫に引継ぎ、より心安らかな生活を過ごせるように、すべての社員が法規制を守り、さらに自主活動によって、環境への負荷が少ない循環・共生を基調とした事業を構築していかななくてはなりません。

このような認識に立ち、経営基本方針に「かけがえのない地球環境を将来の世代に遺そう」の言葉を付け加えました。そして、環境にやさしいプラスチック成形・加工事業に向けた全社員の自主的な取り組みを促進するため、主要事業所において環境管理システムの構築をすすめています。

すべての社員に、環境配慮の行動を徹底させるためには、身近な環境を愛し、日常的な活動から行動を起こすことが重要です。このため、大宝グループの全事業所および生産活動において、ISO14001の認証を取得し、一人一人が出来ることから一歩ずつ環境を守り育てる取り組みを開始しています。

環境組織

弊社社長のもと、環境担当取締役を最高責任者として環境管理体制を構築しています。



大宝工業（株）は大宝工業社長、および環境管理統括責任者の基に本社・関東・関西・九州の各カンパニーが統合され活動を行っています。

タイロン（株）やマガタ富士化成（株）、海外事業所も、別サイトとして活動しています。

各事業所毎に環境管理委員会、内部環境監査委員会、専門部会を設置して、環境マネジメントシステムのPDCAを実行し、環境改善に取り組んでいます。

環境管理活動の取組み



ISO審査（タイロン）



ISO審査（河野工場）



危険物保管庫



ISO審査（湖南工場）



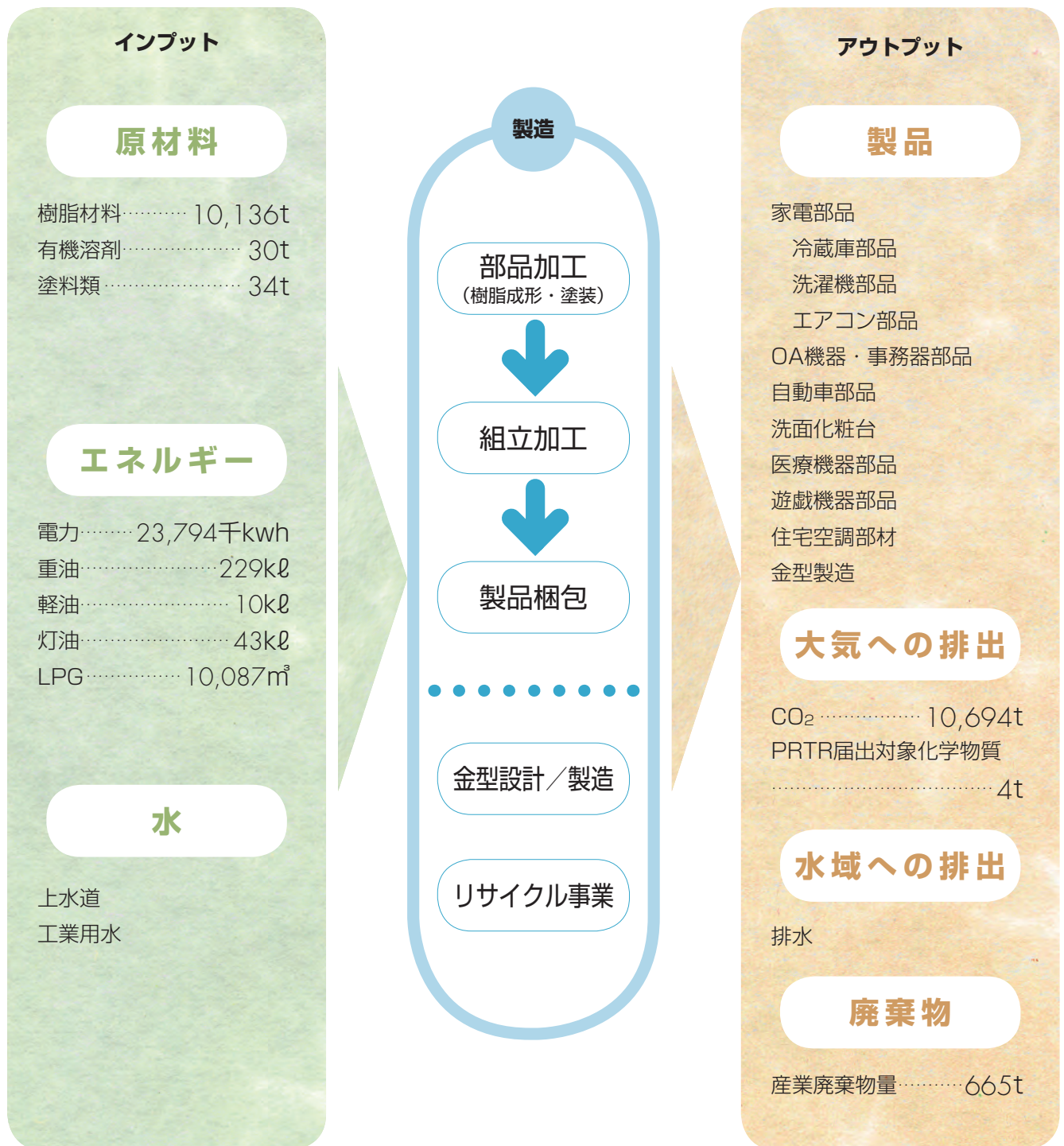
本社環境管理委員会



内部監査（監視と測定）

環境負荷の全体像

大宝工業では、家電や自動車等の各種部品の生産活動を行っています。弊社では、モノづくりにおける環境負荷を低減するため、省エネルギー、化学物質削減、廃棄物量低減などの取組みを展開しています。



環境活動 計画・実績

ISO14001環境マネジメントシステムに基づいて中期目標を定め、それをもとに年度ごとに達成目標を掲げて環境改善に取り組んでいます。

取組み項目		2014年度活動内容	対前年度実績
環境に優しい物作り (省エネ・省資源)	◇電力使用量の削減 ◇原材料ロスの低減 ◇製品不良率の低減 ◇VOCの削減 ◇二次加工不良の低減	◇電動式成形機の導入。エコカーへの切换え - LED照明への切替、電動フォークリフトの導入 ◇各事業所単位の電力使用量と電気料金をグラフ化し、電力削減意識の向上を図っている ◇小集団活動（不良率50%削減）の取組み ◇二次加工：浮遊ゴミ対策として除電ブロー、間仕切 ◇デマンド監視装置の設置	電力使用量 (総量) 1.5%増加 電力使用量 (原単位) 9.5%削減
地球温暖化防止 (CO2排出量の削減)	◇CO2排出量削減 ◇月次排出量一覧表作成により意識付け ◇環境表彰制度 ◇社内報に環境関連記事を掲載	◇2010年度より、各事業所単位のCO2排出量と原単位をグラフにしフィードバック、各社のCO2削減意識の向上を図っている ◇グリーンカーテンの設置 ◇環境表彰制度の改訂を行い、優秀工場の表彰 ◇改善事例の水平展開	CO2排出量 (総量) 50t削減 CO2排出量 (原単位) 11.3%削減
廃棄物のリサイクル化 (産業廃棄物の削減)	◇廃棄物の有価物化 ◇リサイクル	◇原材料、副資材のリサイクルや有価物化の推進 ◇ダンボール箱をダンプラ通箱へ、木製パレットの有価物化や納入業者引取り依頼	向上
環境汚染の防止 (水資源の使用量削減)	◇使用量の削減 ◇排出量の削減	◇社内の節水活動を推進するステッカーなどを設備や機器に添付し、意識付けを推進	向上

海外拠点の環境取組みの紹介

チェコ工場では都市ガスを使ったボイラーを使用して高光沢成形を行って来ましたが、対策を重ねた結果、通常成形による高光沢成形に成功。都市ガスの使用量はゼロとなり、CO2を大幅に削減することができました。（2012年度改善事例）



改善取り組みの事例紹介

エコ 改善内容 1

グラスウール粉塵が製造過程で外部に排出されるのを抑制することと、製造室のクリーン化を考慮して、集塵機を5台導入しました。

現在は集塵機のフィルター通過後の粉塵量が2.0mg以下と安定しています。

【測定条件】

集塵機吸引流量 800L/min

集塵機吸引時間 1時間

(2013年度改善事例)



製造室の捕集粉塵量

稼働前	
製造室の捕集粉塵量	6.1 (mg)
集塵機のフィルター通過前	2.1~12.5mg

稼働後	
製造室の捕集粉塵量	3.7 (mg)
集塵機のフィルター通過後	1.1~1.9mg

削減

集塵機の
フィルター通過後
粉塵量
最大85%削減

製造室の
粉塵量を
約40%削減

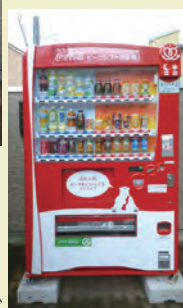
エコ 改善内容 2

本社の自動販売機をピークシフト自動販売機に変えることにより、使用電力量、電力料金ともに約15%節減する事が出来ました。

また、地球温暖化係数が最も低い不燃性の自然冷媒を使用しており、地球温暖化への影響が少なくなっています。



改善前



改善後

缶自動販売機

年間電力使用量
980KWh

年間電力料金
25,578円

ピークシフト缶自動販売機

年間電力使用量
830KWh

年間電力料金
21,663円

効果

電力使用量
150KWh
節減

電力料金
3,915円
節減

エコ
改善内容
3

成形工場と倉庫の415Wの水銀灯（48基）の使用を中止して、適切な配置を考慮しつつ、182Wと124WのLED照明（36基）を導入しました。これにより、使用電力量、電力料金ともに3分の1以下に節減する事が出来ました。

従来の水銀灯に比べ、LED照明は長寿命なのでランプ交換費用も節約出来ます。



水銀灯

年間電力使用量
119,520KWh

年間電力料金
2,545,060円

LED照明

年間電力使用量
31,656KWh

年間電力料金
714,585円

効果

電力使用量
87,864KWh
節減

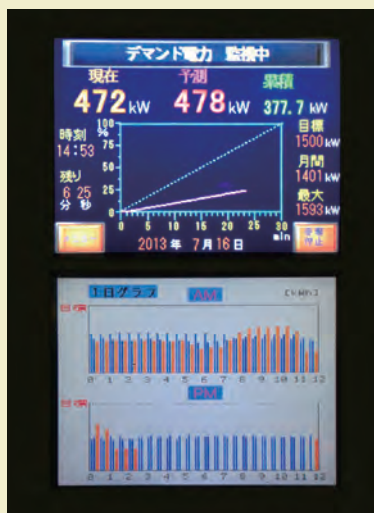
電力料金
1,830,475円
節減

エコ
改善内容
4

工場内の電力使用状況を監視し、設定した目標値を超過しそうになると、工場内にある50台のエアコンのコンプレッサーを自動制御し、電力使用量を抑制することで節電を可能としました。

（2012年度改善事例）

デマンドとは：30分間の平均使用電力



導入前

デマンド値 1,623KW

導入後

デマンド値 1,550KW

効果

削減
デマンド値
73KW
節減

電力料金
1,451,412円
節減

環境関連法規制の遵守

環境に関する重要な法律の施行、改正を監視し、常に法律や関係する団体から求められる規制を守り、違反の無いよう定期点検を行っています。また、大気汚染、騒音・振動にかかわる規制項目については、各事業所ごとに認定機関による測定を行い、基準値内であることを確認しています。

管理項目	2012年度実績	2013年度実績	2014年度実績
省エネ法	企業単位で届出	企業単位で届出	企業単位で届出
地球温暖化法	企業単位で対応	企業単位で対応	企業単位で対応
廃棄物	適正処理	適正処理	適正処理
PRTR法化学物質	適正管理	適正管理	適正管理
自動車NOx・PM法	入替実施	入替実施	入替実施
大気汚染	基準値以下	基準値以下	基準値以下
水質汚濁	基準値以下	基準値以下	基準値以下
騒音・振動	基準値以下	基準値以下	基準値以下

※環境に関する重大事故、苦情はありませんでした。



製品を通して環境貢献

環境への負荷軽減に貢献する製品の研究・開発・展開を推し進めています。

紙成形品 [PIM パルプ射出成形品]



アメリカ特許証

外国特許取得
アメリカ/カナダ/イギリス
フランス/ドイツ

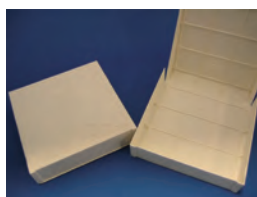
大宝グループは15年前に、プラスチックにかわる成形材料の開発に着手し、長年培ってきたプラスチック成形加工技術との融合を目指してきました。

パルプ射出成形は、主成分にパルプと澱粉を用いた成形材料を射出成形して、3次元立体構造物を実現する新技術です。

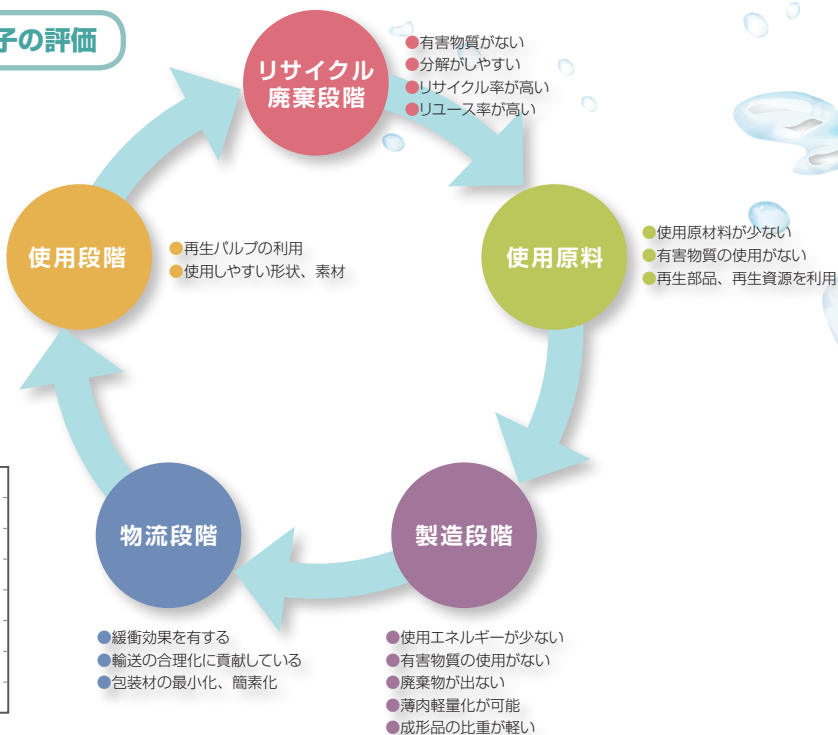


PIM 専用射出成形機

PIM 射出成形品



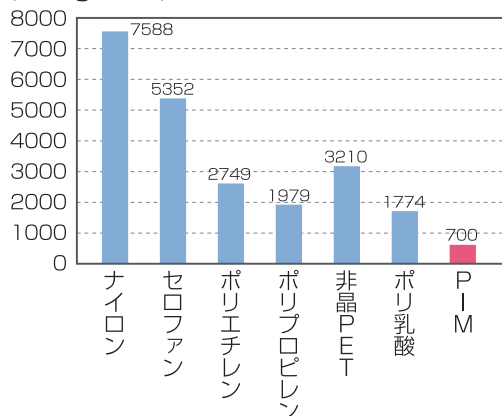
PIMの環境影響因子の評価



PIM材料のLCA比較

LCA …… 製品の原料調達から製造、廃棄までの環境負荷を定量的に評価する方法です。

(CO₂kg / ton)



再生樹脂 [エコ リサイクルシステム]

環境への負荷軽減に貢献する製品の研究・開発・展開を推し進めています。



エコリサイクルシステム

廃家電から取出したPP（ポリプロピレン）樹脂を回収し、金属除去、異物除去工程後、当社オリジナルの洗浄設備と洗浄液（天然素材）で食品衛生法の基準をクリアーできる再生樹脂を生産しております。

リサイクル・フォロー

金属／異物除去

廃家電リサイクル工場から持ち込まれたプラスチックを専用設備で金属／異物を除去し、リサイクル可能な樹脂のみを取出します。

洗 浄

食品衛生法に合格した天然素材100%の洗浄液を使用し専用設備で洗浄を行います。（廃プラスチックの臭いを除去）

脱水・乾燥

脱水および乾燥を行います。

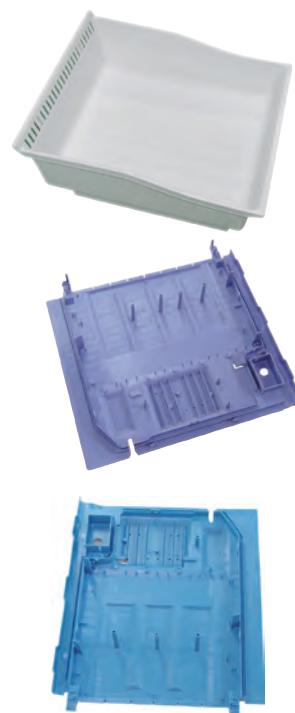
PP再生材

食品に直接触れる部品にも使用可能なPP（ポリプロピレン）リサイクル材料となります。

プラスチック成形

リサイクル材料を100%使用し、家電製品の部品の生産を行います。

リサイクル製品事例 （冷蔵庫部品）



今後の 展望



リサイクル樹脂の品質保証を強化するために、樹脂物性検査機器の充実化、体制強化を図ります。

また、お客様が求める物性を持つ「オリジナルリサイクル樹脂」開発を進めてまいります。世界規模で環境問題が重要視されるなか、このリサイクルシステムは未来社会に大きな貢献を提供できる技術として期待されています。

社会、地域への貢献活動

大宝グループでは、素晴らしい社風作りと地球環境問題を経営課題と捉え、1999年に「大宝環境憲章」を制定しスタートしました。「環境に思いやる心」を持つを合言葉に、全社員が環境憲章をよく理解し、納得し、そして具体的な行動の出来る集団づくりを実践しています。

会社周辺の清掃活動

大宝工業本社では、環境活動の一環として毎朝会社周辺の清掃活動を行い、地域の美化に努めています。また、グループ各社でも定期的に工場周辺の清掃活動に取組み、周辺地域の住民の皆様と共に地域の美化を推進しています。



小学生の紙成形見学会

東京大学、日精樹脂工業(株)、大宝工業(株)とで共同研究しているPIM:パルプ射出成形の成果発表会に、近郊の小中学校からの見学をお受けいたしました。パルプ射出成形は、主成分にパルプと澱粉を用いた成形材料を射出成形し



て、3次元立体構造物を実現する新技術です。これからの時代を担う子どもたちに、未来型技術と研究内容を身近に触れて頂きました。



東京大学生産技術研究所
横井研究室 千葉実験所公開
(2010年11月12日)

フードバンク活動に協力

フードバンク(食糧銀行)とは社会福祉活動の一環で、賞味期限内で、食べられるのに廃棄される食品を、食糧支援が必要な施設や人たちに無償配布する活動です。

フードバンクガイドラインに沿って活動しています。



(フードバンクOSAKA ホームページより抜粋)

フードバンク(食糧銀行)を通じて食糧支援

大宝グループ内の備蓄品の入替時に、水23ケース、アルファ米276食、カンパン96食をフードバンクに寄贈しました。



